

[ 久良岐能舞台 ]  
 平成 25 年度業務報告及び収支決算  
 [ 株式会社シグマコミュニケーションズ ]

※文中の事業欄において、  
 ●：主催事業 ○：共催事業 を示します。  
 ※文中の達成指標、達成状況欄において、  
 □：定量的指標 ■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	久良岐能舞台
所在地	横浜市磯子区岡村 8-2 1-7
構造・規模	木造平屋建
敷地・延床面積	延べ床面積 341.66 m <sup>2</sup>
開館日	昭和 62 年 10 月 6 日

2 指定管理者

法人名	株式会社シグマコミュニケーションズ
所在地	東京都品川区西五反田 7 丁目 19-1
代表者	代表取締役社長 鈴木利雄
設立年月日	昭和 62 年 4 月 1 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

「独創的な事業運営を行い、久良岐能舞台の新たな施設価値を創造する」

伝統芸能の愛好者と鑑賞者の育成的（生涯学習的）機能をもった施設運営とその実現のため、多様な自主事業と共に通年型の講座等を実施し、賑わいのある施設運営に努めました。

① 能楽に留まらず、久良岐能舞台を利用する伝統芸能分野で利用者の高齢化による利用の減少が相次ぎ、伝統芸能の継承と施設利用につながる対応策が求められ、その実現のために新たな愛好者を育成する業務等、必要な業務や事業により伝統芸能の振興に努めました。

② 7 年目を迎える市民協働事業「久良岐まつり」は、講座受講者の発表会や地域市民による伝統芸能発表会など、リニューアルした事業を実施する予定でしたが、台風の影響により中止しました。

③ 運営ビジョンに添って、昨年度に引き続き通年型の久良岐能楽講座を開催するほか、今年度から日本舞踊講座も開催し、多くの受講者が伝統芸能を学びました。

④ 自然と文化芸術が一体となった施設として重要な要素である庭園の美観維持や安全安心の利用を推進するため、市民ボランティアも参加して日常清掃や植栽などの環境整備を実施しました。

⑤ 再々利用者から改善が求められていた見所の空調設備が更新、また屋根の一部修繕及び見所の畳更新が実施され、快適に利用できる久良岐能舞台の環境が更に整いました。

## (2) 25年度の業務の方針及び達成目標の総括

### ① 事業の総括

- 高齢化が著しい能楽愛好者の若返りや新たな愛好者の育成を図るための事業として23年度から始めた能楽講座、2年コースの謡・仕舞講座で2期目の実施を、また1年間の囃子講座では3回目の講座修了者を出し、能界で初めての通年型養成講座として注目を集めると共に、目標のワンステップを達成しました。更に今年度から日本舞踊の基礎講座を2年コースとして開始しました。
- 「小学校向け狂言鑑賞教室」やアウトリーチ事業「こどもを育てるアートのちから」等の教育支援事業でも多くの学校の参加を得て、教育の場面を通しての伝統芸能の普及を推進しました。
- 「第7回久良岐まつり」は地元市民との連携・協働によりリニューアルして開催の予定でしたが、残念ながら台風の影響が予想されたため、中止しました。

### ② 運営の総括

メディアへの露出機会を増やす広報活動の実施や発信性のある事業運営を通じた知名度の向上、利用者、来館者に親切な施設運営、施設運営のPDCAサイクルの適切な反映等を継続的に進めましたが、2度の台風による事業の中止や冬季の積雪での事業中止などのため、来館者数等が目標に達しませんでした。

### ③ 管理の総括

- 庭園等の美観維持のための清掃管理は、今年度から久良岐能舞台サポートスタッフ（市民ボランティア）も参加して適切に実施しました。
- 数度にわたる台風や強風雨、冬季の2度にわたる多量の積雪のため多くの樹木が倒壊、損傷しましたが、南部公園緑地事務所と連携で短時日のうちに処理し、市民の安全な利用を適切に確保しました。
- 再々利用者から要望があった見所の空調設備が更新され、また屋根の一部の修繕及び見所の畳の更新が実施され快適性の高い利用が確保されました。

### ④ その他の総括

- 日報や日々の業務における問題点の発見、事業参加者や施設利用者からのアンケート集計結果などを検討対象としたPDCAの確実な運用を行い、自己業務評価を行いました。評価や点検の結果は全職員が共有し、次の業務改善へつなげました。

## 4 業務の達成状況

### (1) 事業について

#### ア 久良岐能舞台所蔵の能装束等の公開展示

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>① 所蔵能装束を公開し、能楽等への関心や理解を深める</p> <p>[取組み]</p> <p>● 「所蔵能装束公開展示と狂言面作品展」</p> <p>年度ごとに異なるテーマのもとで、所蔵能装束展示、能面作品展、講演会などを行ない、能楽に対する市民の関心と理解を深める機会を提供する。</p>	<p>① <input type="checkbox"/> 講演会参加者 70名</p> <p>② <input type="checkbox"/> 参加者アンケート回収率 50%以上</p> <p>③ <input checked="" type="checkbox"/> 参加者満足度 90%以上</p> <p>※「満足度」とは、アンケートにおける満足度5段階評価のうち、無回答を除く上位2段階（「大変良かった」及び「良かった」）の割合とする。（以下同じ）</p>	<p>[実施内容]</p> <p>所蔵能装束の虫干しを兼ね、所蔵能装束の展示と解説講演を実施。</p> <p>今年のテーマを「狂言」とし、能装束製作者である堂本朋子氏監修のもと、所蔵能装束及び借用狂言装束の展示、講演を行った。</p> <p>能面は現代を代表する狂言面作家、伊藤通彦氏。作品15面の展示と講演を行った。</p> <p>今回は司会者に当館館長があたり、司会者が講演者にインタビューする形式とした。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>① <input type="checkbox"/> 講演会参加者 結果:56名 (販売枚数:56枚)</p> <p>② <input type="checkbox"/> 参加者アンケート回収率 結果:51%</p> <p>③ <input checked="" type="checkbox"/> 参加者満足度 結果:100%</p> <p>参加者達成率は80%だが、全体として事業の目標を達成した。</p> <p>多様な水準の参加者への対応が前回からの課題とされたが、インタビュー形式で様々な角度から聞くというやり方で、参加者アンケートでもおおむね、良い結果がでた。</p>

イ 能楽等に関する興味や関心を広げ、理解を深めるための事業の推進

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①能楽等に関する市民の関心や興味を広げ、理解を深める事業</p> <p>[取組み]</p> <p>●「小学校向け狂言鑑賞教室」</p> <p>近隣区の小学校6年生を対象とし、学校単位で久良岐能舞台に招待して教科書に出ている狂言を鑑賞し、ワークショップで学ぶ。</p> <p><b>【新規】(受託)</b></p> <p>○横浜市芸術文化教育プラットフォーム 「こどもを育てるアートのちから」</p> <p>横浜市内小中学校を対象とし、アーティストを学校へ派遣し芸術鑑賞の機会を提供。</p> <p>コーディネーターとして狂言師派遣と事業実施に協力。</p>	<p>①<input type="checkbox"/>3日間各1時間の鑑賞教室を9回実施</p> <p>②<input type="checkbox"/>参加校12校1,000名</p> <p>①<input type="checkbox"/>参加校3校以上</p>	<p>久良岐能舞台近隣3区(磯子区・南区・港南区)の小学校6年生を学校単位で招待し、教科書に出ている狂言「柿山伏」の鑑賞及び狂言ワークショップを教育支援事業として開催。</p> <p>能舞台で狂言師による狂言を観賞し、狂言ならではの所作や発声などを学習・体験した。</p> <p>講師 善竹富太郎 前田侑太郎</p> <p>久良岐能舞台から狂言師を市内小中学校へ派遣し、教科書に取り上げられている狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催。</p> <p>横浜市芸術文化教育プラットフォーム主催「アートのちから」は、今回で9年目。当館はアーティストと学校の仲介役であるコーディネーターを担当し、今回で3度目の参加。</p> <p>講師(狂言) 善竹富太郎 前田侑太郎</p>	<p>①<input type="checkbox"/>10月15、17日 2日間 6回実施</p> <p>②<input type="checkbox"/>参加校11校 参加者 962名</p> <p>③<input type="checkbox"/>職員アンケート回収率 結果11校:100%</p> <p>■参加者満足度 結果:100%</p> <p>費用全額弊社負担による教育支援事業として実施。</p> <p>参加申し込みは対象3区合わせて17校、1,445名であったが、残念ながら台風の影響で危険が予測され、2日目(16日)(港南区)を中止した結果、2区のみの実施となった。</p> <p>①<input type="checkbox"/>久良岐能舞台担当 狂言教室参加校4校 参加者 404名</p> <p>アウトリーチ活動として久良岐能舞台担当の古典芸能(狂言教室)を実施し、学校単位で狂言を体験し、古典芸能の普及に繋げた。</p> <p>実施学校名</p> <p>10月7日 市立藤塚小学校</p> <p>10月21日 市立日下小学校</p> <p>11月11日 市立いちよう小学校</p> <p>12月2日 市立岸谷小学校</p>

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>様々な伝統芸能に触れ、魅力や楽しみを知る事業</p> <p>●「久良岐能舞台能楽講座受講生発表会」</p> <p>●「日本舞踊をやってみよう」 〔日本舞踊講座導入事業〕</p> <p>●「体験してみよう 能の謡・仕舞・囃子」 〔能楽入門講座導入事業〕</p>	<p>①□参加者数 30名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p> <p>①□参加者数 50名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p> <p>①□参加者数 50名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>24年度の能楽講座終了にあたり、締めくくりとして発表会を開催する。</p> <p>7月から開始する日本舞踊基礎講座の導入事業として実施。観るだけでなく、話を聞いて学び、体験して学習意欲を喚起する。</p> <p>謡曲や仕舞、囃子を学びたい方に向けた能楽入門講座の導入事業として実施。喜多流、金春流、宝生流で、能楽囃子も聞いて学べる楽しいワークショップ。</p>	<p>4月13日実施 ①□参加者数 60名 ②■満足度 100% ③□アンケート回収率 65.0%</p> <p>5月12日実施 ①□参加者数 103名 ②■満足度 100% ③□アンケート回収率 42.0%</p> <p>5月19日実施 ①□参加者数 155名 ②■満足度 100% ③□アンケート回収率 27.4%</p>
<p>【新規】</p> <p>●「岡村連合自治会/長野県池田町交流20周年狂言鑑賞会」</p> <p>●「しぐさ花伝書パートII 島唄を踊る」</p>	<p>①□参加者数 80名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p> <p>①□参加者数 70名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>久良岐能舞台の地元、磯子区岡村連合自治会と長野県池田町の交流20周年を記念するため、地域からの要望に応じて狂言会を開催。</p> <p>奄美大島の古い言葉で唄われる曲、神にささげる曲などを生演奏で、これらの曲で日本舞踊を舞う、魅力あふれる公演。</p>	<p>8月3日実施 ①□参加者数 93名 ②■満足度 100% ③□アンケート回収率 73.2%</p> <p>11月17日実施 ①□参加者数 100名 ②■満足度 100% ③□アンケート回収率 40.0%</p>
<p>●第6回久良岐狂言会</p>	<p>①□参加者数 90名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>今回で6回目となる久良岐狂言会を実施。「野村万作家の狂言」と題して、野村万作家の狂言師達による狂言会。今回は狂言の他に狂言の舞「小舞」を加え、狂言の多彩な楽しみを味わう。</p>	<p>3月16日実施予定 ①□参加者数 133名 ②■満足度 98.6% ③□アンケート回収率 65.4%</p>

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>●久良岐能舞台能楽初級講座</p> <p>「謡曲初級講座 喜多流謡曲初級講座」  「謡曲初級講座 金春流謡曲初級講座」  「謡曲初級講座 宝生流謡曲初級講座」  「仕舞初級講座 喜多流仕舞初級講座」  「仕舞初級講座 金春流仕舞初級講座」  「仕舞初級講座 宝生流仕舞初級講座」  「能楽囃子入門講座 笛・小鼓・大鼓・太鼓」</p> <p>能楽愛好者一般及び久良岐能舞台を利用する能楽愛好者の高齢化による施設利用の低下傾向を受け、愛好者の若返りを図り、施設の活性化を増進する目的をもって、シテ方三流及び囃子方の入門講座を始める。  全国的にも例を見ない「通年型」の講座とし、水準の高い初級の愛好者を早期に育成する方針で運営する。</p> <p>日本舞踊基礎講座  今年度から市民の要望に応えて、日本舞踊の基礎を2年コースで学んで貰う講座を開講する。</p>	<p>①□事業参加者  ・謡曲・仕舞初級講座 810名(年間)  ・囃子入門講座 460名(年間)</p> <p>②■顧客満足度 90%以上</p> <p>①□事業参加者 400名以上  ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>(1)謡曲入門講座及び仕舞入門講座においては、能楽五流のうち、今年度は宝生流を加わえて三流として開催。講座内容は愛好者の基礎として、今後稽古を続けるための基礎を作ること、能楽の鑑賞者として必要な知識を与えることを目標とする。講座は6月から開始し、10月の久良岐まつりでの発表までを前期とし、11月から翌年3月の発表会まで後期とする。それぞれの講座は1ヶ月に3回開催を基本とし、決まった曜日時刻に開催する。</p> <p>(2)囃子入門講座については、10月の久良岐まつり発表会まで、受講者全員が全ての楽器を習い、能楽囃子についての基本的な知識を習得できるようにする。そのため、10月発表会までは毎週の稽古とし、稽古の密度を上げることで短期間に知識を得られるようにする。11月から翌年度の4月までは受講者別に whichever の楽器を選択して受講する。楽器ごとに毎月2回の受講日とし、専門の講師から指導を受ける。3月にはシテ方と共に合同で発表会を開催し、囃子方の入門講座は1年で終了する。</p> <p>流派に関わらず、日本舞踊の基礎的な技術や表現法などを、関連する知識とともに学ぶ講座とする。2年間のコースとし、本年度から開講。</p>	<p>事業参加者  結果:  喜多流謡曲初級講座  開催回数 26回  受講者数 48名  金春流謡曲初級講座  開催回数 25回  受講者数 41名  宝生流謡曲初級講座  開催回数 26回  受講者数 43名  喜多流仕舞初級講座  開催回数 27回  受講者数 25名  金春流仕舞初級講座  開催回数 25回  受講者数 55名  宝生流仕舞初級講座  開催回数 26回  受講者数 36名</p> <p>囃子入門講座  開催回数 13回  受講者数 124名  囃子入門講座・太鼓  開催回数 10回  受講者数 38名  久良岐まつり発表会  開催回数 1回</p> <p>総開催回数 179回  総受講者数 410名  発表会参加者数 23名</p> <p>講座登録者数  謡曲 喜多流 4名  金春流 2名  宝生流 4名  仕舞 喜多流 3名  金春流 3名  宝生流 4名  囃子 12名</p> <p>日本舞踊基礎講座  開催回数 35回  総受講者数 490名  発表会参加者数 18名</p>

<p>[業務内容] 新規 「こども狂言育成事業」 「子供伝統芸能発表会」 ○能狂言を地域の文化として育てる目的をもって、地元の子ども達に狂言を練習して貰い、久良岐まつりで発表する。 子ども達が日頃習っている伝統芸能を久良岐まつりで発表する。</p>	<p>[達成指標] ①□事業参加者 120名 狂言を学ぶ地域の小学生 5名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>[実施内容] 「子ども狂言育成事業」 久良岐能舞台の地元の小学校4校に呼びかけ、希望する小学校高学年の児童に、久良岐能舞台で狂言師が稽古を行う。 稽古回数 7月から10月の久良岐まつりの間に合計8回。 発表は久良岐まつりで実施予定。</p>	<p>[達成状況] 必要な経費予算が確保困難となったため、実施できなかった。</p>
--	---	---	--

ウ 市民協働による久良岐能舞台を活かした事業

<p>[業務内容] ◆市民協働による久良岐能舞台を活かした事業 [取組み] ○「第7回久良岐まつり」 地域市民に定着した久良岐まつり。地域の自治会連合町内会や福祉協議会、利用者団体との協働事業として開催する。市民が久良岐能舞台を知り、地域の大切な資産として活用する機会とする。また伝統芸能と市民が親しむ機会とする。</p> <p>【新規】後援事業 ○「スペシャルトリオコンサート」</p>	<p>[達成指標] ①□来場者数 2,000人以上 ②□能舞台催事の参加者数 300人以上 ③■顧客満足度 90%以上</p> <p>①□参加者数 80名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>[実施内容] 地域との連携を図り、地域の文化施設として伝統芸能の普及と振興に役立てることを目的とする「第7回久良岐まつり」。 今回から能舞台のみによる「～プレ能舞台イベント～」と、従来通りの「久良岐まつり」の2週、合計4日間にかけて行う。 前半のプレ能舞台イベントでは、主に久良岐の講座受講生による発表が行われ、後半では市民による手作りステージも行われる。庭園部分では地元団体が演芸、屋台などを開催。 10月19日 囃子コンサート+狂言喜多流受講生発表会 10月20日 金春流・宝生流受講生発表会+囃子講座発表会 10月26日 日本舞踊講座受講生発表 10月27日 地域市民手作りステージ 前半は計画の通り開催されたが、残念ながら26日、27日は台風の影響のため中止となった。</p> <p>魅力的な音楽のコンサートの開催後援を通じて、久良岐能舞台を知り、施設の認知度向上や新たな顧客を得ることを目指す。</p>	<p>[達成状況] 「プレ能舞台イベント」 10月19日・20日実施 ①□参加者数 198名 ②■顧客満足度 100.0% ③□アンケート回収率 30.5%</p> <p>「久良岐まつり」 10月26日・27日 台風の影響のため、後半は中止となった結果、来場者数、能舞台催事参加者数ともに目標を達成できなかった。</p> <p>7月14日実施 ①□参加者数 116名 ②■顧客満足度 98.3% ③アンケート回収率 62%</p>
--	---	---	---

(2) 運営について

ア 久良岐能舞台及び能楽等に関する情報の提供

<p>[業務内容]</p> <p>①インターネットを活用した情報発信</p> <p>②各種メディアの積極的活用</p> <p>③他施設の文化事業に関する情報の収集と提供</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ホームページアクセス数 20万件/年</p> <p>①■メディアへの情報提供による催事案内の掲載推進</p> <p>②■市内外公共文化施設等での情報提供実施</p>	<p>[実施内容]</p> <p>①インターネットの Web サイトを積極的に利用して施設の紹介及び運営情報の提供に努めた。</p> <p>②来館者に対して施設案内パンフレット及び催事チラシの配布をし、能舞台の説明を実施。来館者以外に、市内及び近隣自治体文化施設、希望団体などへ配布を実施。</p> <p>③自主事業のチラシを市内及び近隣他市の文化施設や区役所、公民館等約 150 施設に掲示依頼を実施。市内約 40ヶ所の PR ボックスにチラシを配架。その他、公共掲示板や自治会等の掲示板約 160 箇所にチラシの掲示を行った。自主事業の情報を朝日・毎日・読売・産経・東京・神奈川新聞に掲載。フリーペーパー・雑誌等にも掲載を依頼。</p> <p>④自主事業情報として年 5 回ダイレクトメールを送り、自主事業の広報に努めた。DM 対象者は自主事業アンケートにて DM を希望した方に送り、1 回につき約 900 通余の DM を発送。</p> <p>⑤自主事業情報をメールで受けたい方に向けたメールマガジン「久良岐通信」を配信。毎月 1 回、月初に配信。自主事業のアンケートで配信を希望された方が対象。今年度は臨時通信が 6 回あった。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>【別紙6】</p> <p>①□年間 HP アクセス数 131,044 件 対前年度比: 49.4%</p> <p>②自主事業情報を新聞、雑誌等に掲載</p> <p>放送 2 件 新聞 14 件 雑誌 5 件 広報よこはま 8 件 インターネット 8 件</p> <p>③他施設の情報提供</p> <p>伝統芸能関係 386 件 音楽関係 414 件 その他関係 490 件</p> <p>6 月 4 日初にHPへの不正改ざんが確認され、同日HP閉鎖。6 月 10 日再開しましたが、以後アクセス数が激減しました。</p> <p>□市役所、18 区役所、市内外公共文化施設・公民館等 174 箇所 首都圏能楽堂 8 箇所 市内公共図書館 12 箇所 JR・京急・市営地下鉄等 40 駅の PR ボックス、公共掲示板 40 箇所 近隣地域自治会掲示板 72 箇所 マンション掲示板 35 箇所 その他掲示板(公園・駐輪所等) 8 箇所・他 合計 350 箇所</p> <p>□DM 年 5 回配信 4/10、7/25、9/23、1/22、3/20 配信数 910 通(3/20 現在)</p> <p>□メールマガジン 久良岐通信 配信 毎月上旬に送信 合計 17 回配信 配信数 219 件(3/20 現在)</p>
--	--	---	---

イ 能楽等の公演、練習その他の活動への施設の提供

[取組内容] ①施設の適切な貸出し	[達成指標] ◆開館について	
	開館日数	350日
	開館時間	9時～22時
	■適切な開館時間運営 夜間の利用が無い日については、ホームページ上にて公開の上、17時閉館としました。	
②休館日等についての 掲示及びホームページ 等による周知	休館日はホームページにて掲示及び施設掲示板に掲出しました。	

#### ウ 利用促進及び利用者サービスの向上

[取組内容] ①古典芸能の振興に寄与 する物品の販売	[達成指標] 能装束の生地を使用した 物品の販売及び関連書籍 の販売 ■能楽関連小物等の販売 の継続	[実施内容] 能楽講座開始に伴い、扇 袋や能管袋等々の需要が あり、引き続き関連小物の 販売を継続しました。	[達成状況]
②ホームページ及びスタッ フブログの掲載情報の充 実	サイト機能の向上とアクセ ス数の増加、掲載情報の 充実化 ①■施設利用状況に対応 したホームページ更新 ②□スタッフブログアクセ ス数 1万件/年	①HP 掲載情報の毎日更 新を実施し、利用者の利 便性の向上に努めた。 ②スタッフブログの掲載推 進を行い、アクセス数の確 保に努めました。	①年間 HP アクセス数 131,044 件 対前年度比: 49.4% ②スタッフブログアクセ ス数 3,242 件 対前年度比: 21.5%

#### エ 組織的な施設運営

[取組内容] ①適切な人員配置	[達成指標] ◆人材の配置 館長 1名 主任 1名 職員 4名 企画管理担当職員 1名 ①■ボランティアスタッ フの導入 ②■専門アドバイザーの 導入	[実施内容] 館長 1名 主任 1名 職員 4名 企画管理担当職員 1名 ①■自主事業の記録撮影 にボランティアスタッ フ導入 ②■専門家をアドバイザ ーに委嘱	[達成状況] ① ■企画、運営、管理各 業務スタッフに市民協働を 実施しました。 登録ボランティア人数 3月末現在 21名 ② ■能楽、日本舞踊、邦 楽、能装束等の専門家に アドバイザーを委嘱しまし た。 アドバイザー人数 4名
--------------------	--	---	--

#### オ 施設見学者への対応

[取組内容] ①施設見学者への積極的 な対応の実施	[達成指標] 見学希望の市民へ全職員 が積極的に対応 □来館者数 17,000名/年	[実施内容] 台風や積雪などの結果、 来館者数が減少しました。 見学希望の市民には、出 来る限り職員が対応しまし た。	[達成状況] □来館者数 17,659人 対前年比 86.6%
---------------------------------	---	--	---------------------------------------



カ その他

<p>[取組内容] ①貸出施設利用率及び 利用料金収入の向上</p> <p>②増収に向けての取組</p>	<p>[達成指標] DM等により利用促進活動 を行い、利用料金収入の 向上を図る ■利用料金収入: 対前年 度比 5%増収</p> <p>□運営経費削減課題につ いて毎月検討</p>	<p>[実施内容] 施設利用率向上につな がる対策の実施及び講座開 催による利用率向上。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>■施設利用料金収入 対前年度比 +7.7%増収</p> <p>□毎月の運営会議におい て現状分析及び課題を検 討実施しました。</p>
--	---	--	--

利用状況等について

施設名	25年度		
	稼働率	利用者人数	見学者数
能舞台	日単位 : 65%	6,823 人	8,324 人
茶室	9%	275 人	
和室	33%	2,237 人	

(3) 管理について

ア 保守管理業務

<p>[取組内容] ①施設・設備の適切な維 持管理</p>	<p>[達成指標] 職員及び委託業者による 点検管理の実施。美観及 び施設・設備機能を維持 する。 ①■目視による日常点検 ②■専門業者による定期 点検を実施 ③■老朽化した部分や設 備の維持更新、改修につ いて関係先と協議する。</p>	<p>[実施内容] ①■毎日清掃時を中心に 目視点検を行いました。 ②■施設・設備の管理業 者による定期点検を実施 しました。 ③■たわんだ屋根の改修 について、関係先の調査 等に対応しました。 ■見所空調設備の性能 不具合による施設利用 者、事業参加者等からの 苦情に対応し、市関係先 への連絡、調整、調査に 対応しました。</p>	<p>[達成状況] ①■毎日点検を実施しま した。 ②施設管理業者による定 期点検を実施しました。 ③屋根、空調設備等の改 修工事に関する利用者対 応調整を行いました。 ④見所畳更新に関する利 用者対応調整を行いまし た。</p>
<p>②能舞台の適切な維持管 理</p>	<p>職員による日常目視点検 を中心に実施。 ■能舞台の日常点検を実 施</p>	<p>①毎日の清掃時に目視点 検を実施しました。 ②舞台利用者から意見を 参考にしました。</p>	<p>毎日点検を実施しました。</p>
<p>③能装束等所蔵品の管理</p>	<p>□年に1度、装束の虫干 し実施</p>	<p>虫干しを兼ねた能装束公 開展示と能面展を開催。 今年度のテーマは「狂言」 として展示、講演会を実施 しました。</p>	<p>4(1)に記載。 所蔵能装束は虫干しの 後、手入れを施し、防虫剤 交換、湿気取り剤等を入れ て装束保管箆箆に収納。 防虫剤、湿気取り剤は年2 回交換を実施しました。</p>

イ 環境維持管理業務

<p>[業務内容] ①毎日の清掃</p>	<p>[達成指標] ◆施設内の清掃を毎日適切に実施 ◆庭園内の清掃を毎日適切に実施</p>	<p>[実施内容] 施設や庭園内を毎日朝、職員によって丁寧な清掃を行いました。 今年度は強風雨や積雪による樹木等の被害も多く、適宜状況の把握に努めるとともに南部公園緑地事務所との連携を図りました。</p>	<p>[達成状況] ■施設内及び庭園内の清掃を毎日適切に実施しました。 施設門前及び前面道路等、近隣部分についても清掃に努めました。 年末年始休館(12/29～1/3)の間、委託により門前付近の近隣道路の清掃を毎日実施しました。</p>
<p>②能舞台の清掃</p>	<p>■定められた清掃方法により能舞台の清掃を適切に実施</p>	<p>■能舞台は毎日清掃を実施しました。舞台磨きを2週間に一度実施しました。湿度の高い環境にあって、木造施設のため腐食が進みやすく維持が難しい状況にあるため、施設及び設備の点検を毎日実施し、適切な管理を行いました。</p>	<p>■能舞台清掃を毎日実施。 舞台利用状況に対応し、概ね2週ごとの舞台磨きを実施しました。 能舞台、舞台近辺、鏡の間等の目視点検を毎週丁寧に実施しました。</p>

ウ 保安警備業務

<p>[業務内容] 敷地内の巡回点検</p>	<p>[達成指標] 施設の秩序維持、犯罪や火災等への警戒及び防止活動。 ■職員及び機械警備による保安警備業務の実施</p>	<p>[実施内容] 施設及び敷地全体の防犯防災管理を確実なものとするため、施錠時刻及び日中に樹木、植栽の間などのチェックも含め丁寧な見回りを実施。市の公園として市民の自由な出入りが多いため、清掃を念入りに行う他、人の動きに特に注意を払いました。</p>	<p>[達成状況] ■勤務時間中は職員により、勤務時間外は機械警備により保安警備を適切に実施しました。</p>
----------------------------	---	--	---

エ 庭園管理業務

<p>[業務内容] ◆魅力的な美観の維持</p>	<p>[達成指標] ①□庭園内清掃 毎日実施 ②□庭園内目視点検 毎日実施</p>	<p>[実施内容] ①□庭園内の毎日清掃を実施。 ②□庭園内目視点検の実施。 ③庭園内植栽の老朽化、繁茂等について、南部公園緑地事務所と協議の上、伐採や間引き、除草等の適切な対処を実施。 ④草花の自主的な植え替えを実施し、美観を維持。</p>	<p>[達成状況] 4月 敷地外清掃・草刈・除草を頻回実施。 4/6 強風雨による倒木の場外処分実施(公園管理事務所) 4/19 竹林整備実施(グリーンサポーター17名) 6月 敷地外清掃・草刈・除草を頻回実施。 6/8 地元自治会の清掃奉仕活動に参加、沿道沿い</p>
------------------------------	---	---	---

	<p>⑤庭園内汚水枡マンホールの保全点検。</p> <p>⑥環境ボランティアグループ「磯子グリーン・サポーター」の研修を兼ねた庭園内の植物管理を受け入れ。</p> <p>⑦久良岐能舞台サポートスタッフ(ボランティア)との協働による庭園管理を実施しました。</p>	<p>の雑草取り等を実施。</p> <p>6/19 玄関上大屋根軒下のスズメバチの巣撤去。</p> <p>6/24 山門扉錠不具合の是正を公園管理事務所に要請。</p> <p>6/28 グリーンサポーター23名及び磯子土木事務所職員5名来館、庭園内除草及び樹木剪定作業。</p> <p>7月 敷地内外清掃・草刈・除草・水撒き・水遣りを頻回実施。</p> <p>7/18 庭園内外の紫陽花剪定作業。</p> <p>7/23 夕方大雨時、水路及び排水弁のつまり点検、堆積物撤去。</p> <p>8月 敷地内外清掃・草刈・除草・水撒き・水遣りを頻回実施。</p> <p>8/20 敷地内山桜倒壊、伐採処分を公園管理事務所に要請。</p> <p>8/22・29 山門階段脇の枯れ木伐採処分。</p> <p>8/27 庭園内樹木のスズメバチの巣を撤去。</p> <p>9月 敷地内外清掃・除草を頻回実施。</p> <p>9/17 台風18号による山門付近の倒木倒壊。公園管理事務所に伐採処分要請。</p> <p>9/25 上記倒木の処分。</p> <p>10月 敷地内外清掃・除草を頻回実施。</p> <p>10/16 台風26号により、山門階段両側の樹木複数が倒れ、階段保護策が破損。公園事務所に対応要請。</p> <p>10/16～24 上記倒木10本を伐採搬出。</p> <p>10/22 庭園除草等作業(グリーンサポーター20名)</p> <p>11月 敷地内外落葉清掃・除草・選定作業頻回実施。</p> <p>12月 敷地内外落葉清掃・落枝撤去作業頻回実施。</p> <p>12/17 グリーンサポーター20名及び磯子土木事務所職員4名、庭園作業。</p> <p>1月 敷地内外落葉清掃・落枝撤去作業頻回実施。</p> <p>1/31 山門扉錠補修完了。</p> <p>2月 2/8、2/14の2回にわたる大雪の除雪作業に述べ12日間を要した。</p> <p>雪による被害・倒木多い。</p>
--	---	--

			庭園の低木樹木が押しつぶされ、樹形に大きな被害。 2/25 竹林整備作業実施 (グリーンサポーター17名及び磯子土木事務所職員3名) 2/28 山門脇枯れ木4本の伐採。 3月 敷地内外清掃・美化・樹木剪定等頻回実施。
◆樹木・公園設備等の点検管理及び公園管理者との連携	南部公園管理事務所と連携し、植栽等の適切な手入を実施。 庭園清掃等を通じて状況の把握に努め、庭園内の危険を未然に回避、安全の確保に繋げる。 ■庭園内定期点検実施	■南部公園緑地事務所と協議・連携して庭園内の定期点検、適切な手入保全を実施しました。 危険が予測される樹木の伐採や枝払いを行い、庭園利用者の安全を確保しました。 台風や大雨、積雪等による樹木などへの被害が多数発生しましたが、その都度、南部公園緑地事務所に対応を要請、実施されました。	5/9 門前沿道のつつじ垣剪定、雑草除去作業実施。 5/13 つつじ垣横の電柱が倒れかかっているのを職員が発見、警察に通報。夕方までにNTTにより対応工事完了。 6/19 磯子土木事務所職員がグリーンサポーター活動予定を持参。 8/17 藁垣再設置工事。 8/20・23・27・28 公園事務所(四季造園)により庭園内外草刈実施。 10/18 南部公園緑地事務所により庭園内状況視察。今年度は台風、大雨、積雪等による倒木等の被害が多く、再々、南部公園緑地事務所に対応を要請。一部作業(伐採樹木の場合処分、保護策修繕、他)が次年度に持ち越された。

オ その他の管理業務

[業務内容] ①防災等	[達成指標] ◆危機管理マニュアル等非常時対応の運用 □職員全員による防災訓練を年2回実施	[実施内容] □施設の危機管理マニュアルにより、事故、災害等の発生時の対応について、全職員で定期的に防災訓練を行い、非常時の対応を確認しました。	[達成状況] □7/22 消防訓練実施 危機管理マニュアルの確認 利用客誘導訓練実施 □1/20 消防訓練実施 危機管理マニュアルの確認 利用客誘導訓練実施
----------------	---	---	--

②緊急時の対応	<p>◆危機の未然防止に努める</p> <p>①■危機の発生以前に対処する予防措置の実施</p> <p>②■開館時間中の敷地内の状況に注意を払う</p>	<p>①■設備点検業者(マイスターエンジニアリング)と職員全員による防災訓練を実施し、災害等危機発生に備えました。</p> <p>②■開館時間中や閉園直後の庭園内の状況を巡回により点検確認し、危機や問題の発生を未然に防止しました。</p>	<p>①■防災訓練実施(上記)</p> <p>②■毎日、数度にわたり庭園内を巡回し、状況の把握に努め、都度対応を行い、問題の発生を未然に防止しました。</p> <p>③9/4 文化観光局防災訓練において災害伝言ダイヤルの利用訓練を行いました。</p>
③光熱水費の削減努力	<p>◆光熱水費の節減に努める</p> <p>①■光熱水費を把握し、異常が見られる場合は関係機関に連絡し原因説明を行う</p> <p>②□光熱水費 年間 110万円以内</p>	<p>月次運営会議において光熱水費の状況確認を行い、節減対策を進めました。</p>	<p>■見所空調設備更新までの間、設備の機能低下により必要室内温度に達するまで長時間の運転が必要になっていたため、電気料金が嵩む結果となりました。見所の室温に対する利用者からの苦情に対応するため、持ち運び式の電気ヒーター2～3台を併用しました。また、施設稼働率の向上に見合う設備運転時間の増加も費用の増加につながりました。</p> <p>②□光熱水費実績 1,467,255円</p>

#### (4) その他について

##### ア P D C Aサイクルの確実な運用

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①日報及び月報の作成・管理	<p>◆日報、月報による業務記録の整備</p> <p>■業務記録の適切な管理</p>	■業務記録の適切な管理	■各種業務記録の適切な管理を実施しました。
②業務計画書及び業務報告書の作成・管理	<p>◆適切な業務計画、業務報告の実施</p> <p>■業務計画書及び業務報告書の作成・提出の実施</p>	■業務計画書、業務報告書の作成・提出の実施	■業務計画書、業務報告書及び関連する資料等の作成、提出を実施しました。
③業務評価(モニタリングの実施)	<p>◆モニタリングへの対応体制の整備</p> <p>■各種の業務記録、アンケート等によるモニタリングを適切かつ確実に実施する</p>	■各種業務記録、アンケート等によるモニタリングを適切で確実に実施	<p>[達成状況]</p> <p>■各自主事業毎に参加者にアンケートを実施、2月に施設利用団体へのアンケートを実施しました。</p>
④業務評価(自己評価の実施)	◆自己評価システムによる自己評価の実施	①■アンケート回収後、翌日集計、職員等の関係者へ回覧実施	アンケート回収後の集計、関係者への回覧、事業報告書の作成・回覧、改善

		<p>② ■ 事業終了後2週間以内の事業報告書作成と関係職員への回覧</p> <p>③ ■ 直ちに実施できる改善点はすぐに実施</p>	<p>点の分析等、いずれも確実に実施しました。</p>
⑤PDCAサイクルの実施	<p>◆ 事業推進におけるPDCAサイクルの的確な運用</p> <p>① ■ 毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施</p> <p>② ■ 次年度事業計画への反映</p>	<p>ISO9001 に基づく弊社の業務品質管理によるPDCAサイクルの運用体制を的確に実施しました。</p> <p>① ■ 運営会議における問題点の討議と改善策の実施。</p> <p>② 次期または次年度への反映。</p>	<p>各種の業務の計画、実施、モニタリング、問題分析のいずれの部分においてもPDCAサイクルを適用して実施しました。</p>

イ その他の取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①保険及び損害賠償の取扱い	◆施設賠償責任保険の加入と損害賠償の対応	□施設賠償責任保険への加入を実施、損害発生時には適切に対応します。	□施設賠償責任保険に加入。
②法令の遵守と個人情報保護	コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底 □年1回の社内個人情報保護研修を実施	施設、事業運営の全ての面で個人情報保護を徹底。 □年1回 個人情報保護研修を実施	□個人情報保護研修を実施。
③情報公開への積極的取組	管理運営情報の公開への積極的取組 ① ■ 施設運営情報の公開 ② ■ 指定管理者情報の開示	① ■ 施設運営情報の公開 ホームページにて公開 ② ■ 指定管理者情報の開示 ホームページにて開示	■ 施設運営に関する情報は、HP上にて毎日更新して公開しました。 ■ 指定管理者に関する情報はHP上にて開示しました。
④市及び関係機関等との連絡調整	◆関係機関との定期的な連絡調整の実施 □毎月1回運営会議及びモニタリング実施	市文化振興課との連絡調整会議(モニタリング)を9回実施。 指定管理者の運営会議を毎月1回実施。	□運営会議、モニタリングは同日実施しました。 4/9、5/20、6/20、7/24、8/26、10/22、11/25、1/23、3/24
⑤その他 (1)適切な許認可及び届出等  (2)施設の目的外使用  (3)名札の着用  (4)人権の尊重	<p>■ 必要に応じた許認可、届出の実施</p> <p>■ 目的外使用の申請及び実施</p> <p>■ 名札の着用を常時実施</p> <p>■ 人権を尊重した運営</p>	<p>■ 防災に関連した計画、設備点検報告等を消防署に提出。</p> <p>■ 能楽関連小物等物販、飲料自販機等に関する目的外使用許可申請及び実施</p> <p>■ 職員、ボランティアスタッフの名札着用を実施</p> <p>■ 全ての利用者、来館者等の人権を尊重した運営</p>	<p>4/2 磯子消防署へ消防計画提出 8/3 磯子消防署へ消防用設備等点検結果報告書提出</p> <p>目的外使用許可申請及び使用許可による物販等の適切な実施を行いました。</p> <p>名札着用を適切に実施しました。</p> <p>全ての利用者、来館者に差別の無い運営を実施しました。</p>

(5)近隣対策	<p>■近隣に迷惑が及ぶ可能性がある場合の事前対応</p>	<p>■催事や工事などの際、事前に近隣対策を実施</p>	<p>久良岐まつり等多くの市民が来館する催事、施設保全や伐採等工事の場合は、事前に近隣に対策を実施しました。</p>
(6)書類の管理	<p>■施設運営に関する書類の適切な管理</p>	<p>■施設運営に関する諸書類の適切な保存、管理を実施</p>	<p>施設の運営管理に関する諸書類は、指定管理者の管理規定に従って適切に管理しました。</p>
(8)行政機関が策定する基準等の遵守	<p>■行政機関が策定する基準等の遵守を適切に行う</p>	<p>■行政機関が策定した基準や横浜市能楽堂条例を遵守した施設運営を行う</p>	<p>行政機関が策定した基準や横浜市能楽堂条例等を遵守した施設運営を適切に行いました。</p>
(9)法令の制定及び改正への対応	<p>■法律や条令への適切な対応</p>	<p>■法律や条令には適切に対応した施設運営</p>	<p>法律や条令には適切に対応しました。</p>

(5) 収支決算額について

ア. 実施方針

指定管理期間第2期3年目は収支バランスの向上と堅実な運営に努めました。

自主事業では前年度並の講座事業の受講料収入を見込みました。

運営経費は前年に続き抑制に努めました。

自主事業費については、主催事業では従来通り100%の自主企画制作を貫いて制作経費の抑制を図り、外部への委託経費部分については効果的な支出に努めました。

イ. 収支

当期は、自主事業収入が昨年度に比して持ち直しました。助成金等の外部資金獲得では成果を残せませんでした。能楽講座は受講生募集に様々な工夫にも関わらず今年度も参加者数は低調で、事業単独として赤字でしたが、新規に始めた日本舞踊基礎講座が堅調で収益に寄与しました。施設の利用料金収入では講座利用も加わって稼働率が上昇し、増収となりました。収支全体としては費用削減及び増収努力の結果として若干の黒字となりました。

収入の部 (単位：円)

	予算額	決算額	差異	収入率(%)	構成比(%)
指定管理料	20,360,000	20,360,000	0	100.0	67.7
利用料金収入	4,400,000	5,070,200	670,200	115.2	16.9
自主事業収入	5,090,000	4,263,800	▲826,200	83.8	14.2
物販収入	300,000	390,484	90,484	130.2	1.3
その他収入	0	3,985	3,985	0.0	0.0
収入合計	30,15,000	30,088,469	▲61,531	99.8	100.0

支出の部

	予算額	決算額	差異	執行率(%)	構成比(%)
人件費	13,640,000	13,197,532	▲442,468	96.8	44.6
施設管理費	3,200,000	2,420,865	▲779,135	75.7	8.2
事務費	5,570,000	5,683,646	113,646	102.0	19.2
その他の支出	-	0	-		0.0
広報宣伝費	850,000	746,632	▲103,368	87.8	2.5
自主事業費	6,610,000	7,287,588	677,588	110.3	24.6
物販仕入費	280,000	272,095	▲7,905	97.2	0.9
支出合計	30,150,000	29,608,358	▲541,642	98.2	100.0
当期収支差額	0	480,111	480,111		